

きたがわむら

北川村

ゆずの郷

中岡慎太郎が奨励した柚子づくり



北川村で生産された「柚子」。柚子の出荷時期には北川村は「柚子」の香りで包まれます。



幕末の偉人「中岡慎太郎」の生家。

【問い合わせ先】

中岡慎太郎館 TEL0887-38-8600

日本は柚子の消費・生産量が世界最大。その日本の生産シェア40%を占める高知県の4分の1の柚子は北川村で生産している。種から育てて実をつけるまでに15年以上もかかる「実生柚子」の出荷が県下で最も多い北川村の柚子は、香りが高く酸味が強いのが特徴だ。

柚子の栽培を奨励したのは村出身の幕末の志士・中岡慎太郎。飢饉に苦しむ村人に柚子を塩代わりの防腐・調味料として使う事を奨励した事が始まりだった。今、慎太郎が奨励したその「柚子」が村を支えている。



北川村温泉「ゆずの宿」。泉質は日本でもトップクラス。

【問い合わせ先】

北川村温泉 TEL0887-37-2321



中岡慎太郎館
幕末の偉人「中岡慎太郎」の生涯を映像とパネルを中心にドラマチックかつダイナミックに紹介。その他にも刀剣や書物等の遺物も展示。

【問い合わせ先】

中岡慎太郎館 TEL0887-38-8600



北川村モネの庭マルモツタン
「花の庭」、「水の庭」、「光の庭」があり、「青い睡蓮」や「クロード・モネ」の名を冠したバラ等、ここでしか見る事の出来ない植物が溢れている。

【問い合わせ先】

北川村モネの庭マルモツタン TEL0887-32-1233

村の面積の95%を森林に覆われた山間の小さな村は、幕末の志士・中岡慎太郎の故郷であり、フランス印象派画家クロードモネの愛した庭「モネの庭」を見事に再現し、世界で唯一正式にその名称を贈られた「北川村モネの庭マルモツタン」があり、とろとろの湯にリピーターが後を絶たない「北川村温泉」がある。その他にも国重要文化財の魚梁瀬森林鉄道遺構や歴史街道「野根山街道」などたくさん観光資源に囲まれている。

世界でここだけ！ どこを見ても観光地

DATA

総人口 1,444人
世帯数 651世帯
面積 196.18km²
人口密度 7.36人/km²

